



行發日三月三
(昭和六年三月三日)
(昭和六年三月三日)
(昭和六年三月三日)

電燈料金値下問題と善後策 熱東生(寄)

己む無きを賢察し朝命を
辱し尾水越の藩士を幽
閉し上下の希望に背いて

民間技術者無し

公營阻止の最大原因
斯の特典まで與へられて
居る事業でありながら、一
般市町村民は『電氣の市町
村管が果して出来るものな
らうか』と云ふ不安の爲に
眼の前にも下つて居る甘
黙々として閉口ばかり云つ
て居るやうに思はれる、こ
れは電氣方面の技術者及び
それに對する知識を持つた
もの大部分が、電氣會社
とか、工場と云ふような所
に俸職して居る一般市
町村民となつて居るものが
なく、従つて市町村が電氣知
識に乏しかつた結果が今日
を生むだものと思はれる、
全國を通じて電氣事業を市
町村管で営つて居る所は、
僅か九十何ヶ所に過ぎない
も少し一般が電氣に目醒め
てほしいと思ふ。

登山電車

原田小太郎
麓、めぐつて
枯林へ入つた
ほそほと流は
とほ山にかか
る
枯やぶ赤い實
小鳥がとんだ
また下に深間
流は早い
あそこに流が
しよきもちるよ
電車の中ぬい
硝子窓もつた
つり橋通つて
ちたちた冬日。

元禄名妓傳

小邑井小色演
(宮野恒彦監)
第十二席
了賀委細心得寺尾左衛
門にも其の話を承諾を
得、こゝで双方結婚の仕度
にとりかゝり、素々
り小西屋は大家のこと、お
房には相當の衣類が幾らも
あるが、扱て急々時勢にな
ると、有るが上にも持たせ
てやり度い、殊に流行は年
々變つて往きます、薄い風
たはやつたと思ふこゝい藤
色に變る、元禄時代文化の
花であつた衣類やうには、
勿論はやりたりがあつた、
締結したる事断は朝廷はに
夫婦が通り旅籠町の大丸
へだわ、六左衛門傍から、



以下報酬や給料
の一部を提供
のを見習つたり
無い實在の焼き
行き詰る小地主
少年求職者の質
行不良、紹介
見兼ねた村長様
所被許シテ模様
春日彌々々々々
り遂に水戸浪士の爲に櫻
田門外血染の雪と消ゆ英
雄の死何ぞ壯烈にして美
しき哉(萬延元)△始めて
合衆國と通商條約を締結
(嘉永三)

日用品値段
△九、三〇九、二〇〇 経済
市況
△一〇、三〇一、〇〇〇 婦
人講座(トマハアアディ
の小説)出て来る、女性
の警見)加藤健児
△一、四〇〇、〇〇〇 経済市況
△一、四〇〇、〇〇〇 経済市況
△一、四〇〇、〇〇〇 経済市況
△一、四〇〇、〇〇〇 経済市況
△一、四〇〇、〇〇〇 経済市況
△一、四〇〇、〇〇〇 経済市況
△一、四〇〇、〇〇〇 経済市況
△一、四〇〇、〇〇〇 経済市況
△一、四〇〇、〇〇〇 経済市況
△一、四〇〇、〇〇〇 経済市況

拈華微笑
以下報酬や給料
の一部を提供
のを見習つたり
無い實在の焼き
行き詰る小地主
少年求職者の質
行不良、紹介
見兼ねた村長様
所被許シテ模様
春日彌々々々々
り遂に水戸浪士の爲に櫻
田門外血染の雪と消ゆ英
雄の死何ぞ壯烈にして美
しき哉(萬延元)△始めて
合衆國と通商條約を締結
(嘉永三)

若者よな泣くか 上映記念
蒲田創立十週年記念超弩級大帝王篇
新編... 佐藤紅緑先生(前篇十卷)
原案... 藤野秀夫主演

市原病院
入院隨意(自炊の便あり)
院長 市原卯太郎
平陽女學校
文部大臣認可
募集人員
師範科 二ヶ年卒業 五十名
師範科 二ヶ年卒業 五十名
師範科 二ヶ年卒業 五十名

山崎合名會社
花 春 優等賞受領
山崎合名會社
山崎合名會社
山崎合名會社
山崎合名會社
山崎合名會社

